

住民の心と心をむすぶ

宇品東 **だ** **よ** **り**



令和7年

2月号

燃え盛る炎に感動



1月12日

第36回宇品東とんど祭り



「第36回宇品東とんど祭り」を1月12日に開催しました。7年ぶりに復活の「バルーンアート」のコーナーでは、ボランティアの中学生たちが、講師の方に習い製作した「バルーンアート」を多くの子どもに無料配布し、大好評でした。

とんど焼きの起源には諸説ありますが、平安時代に宮中で行われていた「左義長」といわれる行事に由来しているそうです。

また、「とんど焼き」という名称は、地域によって呼び方が違ってきます。広く一般的には「どんと祭り」という名前が使われているようですが、東北地方 どんと焼、長野・山梨周辺 道祖神祭、静岡 さいと焼、関西の一部・北陸周辺 左義長、関西の一部・中国地方 とんど焼き、九州地方 鬼火焚き・ほんげんきょう、沖縄地方 ドンド焼、などと様々な名称で呼ばれています。

(青少年部 井上 純子)



宇品東社会福祉協議会 会長

長瀬 充良



世界の人が「宇品に行きたい」、 そんな町に

新年明けましておめでとうございます。旧年中は社協活動に協力して頂き、有難うございました。今年も引き続き宜しくお願い致します。

昨年は元旦早々地震による災害や羽田空港での飛行機事故等、大変な年でしたが、今年は平穏な年であってほしいものです。

今年の干支は巳年、なんでも辛抱強さ、粘り強さが試される年だそうです。私が常々言っている事は、宇品に住んでよかった。宇品に住んでみたいねと言う町になってもらいたい。

宇品と言う地名の由来は、一つの説として、宇品島（現在の元宇品）の形状が、牛が伏せたようになっていたことから、牛の島と呼ばれていたそうで、それがいつしか牛の島が宇品島になり、宇品と言われるようになったそうです。

明治13年広島県県令（県知事）として赴任された千田貞暁公が、広島発展には港が必要、ことから宇品港（広島港）建設に10年間尽力されました。宇品になるこの地区を埋め立て造成し港を作ることが出来ました。ですから宇品と言う地名は歴史的には浅い、そこで我々を含め次世代の方達に、宇品の文化を作って頂きたい、と思う訳です。世界中の方たちが、宇品に行きたくするような文化をつくって行きましょう。



宇品東社会福祉協議会 顧問 広島県議会議員

中原 好治



宇品の歴史が全国区に!

宇品東学区の皆様におかれましては、2024年を穏やかに迎えられることと存じます。ただ私たちは、被災一年を迎える能登半島地震に思いを馳せないといけません。お亡くなりになられた方々へのご冥福と1日も早い復旧・復興を祈念いたします。

さて昨年末にNHK BSスペシャルで「破綻の航跡“暁の宇品” 陸軍船舶部隊の戦争」が放送されました。2021年に出版され、大佛二郎賞を獲得した堀川恵子氏の「暁の宇品」のドキュメンタリー版です。1890年に当時の千田貞暁広島県令により竣工した宇品港ですが、1894年に日清戦争に直面、その後も日露戦争、第二次世界大戦と続きますが、終戦まで日本軍のロジスティックスを担った陸軍運輸部の歴史を描くものでした。まさに宇品の歴史が全国区でふりかえられた作品ですが、是非ともドラマ化していただきたいとも期待しています。引き続き、これまで以上に安心して暮らせる地域を目指して頑張る参りますので、どうかよろしくお願い致します。

福祉部通信

地域交流サロン 「クローバー」をオープン



昨年12月24日皆様のご協力をいただき地域交流サロン「クローバー」をオープンすることができました。

当日は多くの方々の参加があり、読み聞かせ・ビンゴゲーム・茶話会等とても盛り上がり楽しく過ごしていただきました。

このサロンは今後毎月第2・第4火曜日（祝日はお休みです）10時から宇品東会館で開催してまいります。

2月は25日（火）・3月は11日（火）・25日（火）を予定しています。詳しくは、各町内掲示板を



ご覧下さい。楽しいひと時を皆さんと一緒に過ごしましょう。

又毎週金曜日13:30～宇品東会館で百歳体操も行っています。どなたでも参加できます。いずれもいきいき活動ポイント対象事業です。是非参加してみてください。お待ちしております。

その他昨年同様2月から3月にかけて地域別に行う「ミニふれあいの集い」も予定しております。

たくさんのご参加どうぞよろしくお願い致します。

（福祉部 沖本 啓子）



宇品東社会福祉協議会 顧問 広島市議会議員

元田 賢治

自分たちのまちは自分たちで創る活動を

宇品東学区の皆様方には、清々しい新年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃より、様々な活力ある地域活動に積極的にご参加いただき、心から敬意を表する次第であります。

さて、広島は今年被爆80周年を迎えます。この80年の復興への歩みは、多くの方々の核廃絶への気概と挑戦の歴史であります。皆様方のご支援をよろしくお願い致します。さらに、能登半島地震の発生、ロシアのウクライナ侵攻等不安定な情勢が続いております。

改めて、私たちが過ごしている当たり前の生活がどれほど大切で幸せなことであるかを考えさせられる一年であると言えます。

終わりに、皆様方には、地域活動に積極的にご参加いただき、自分たちのまちは自分たちで創る活動の輪を広げていただくよう、ご協力を心からお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

体育部



スポーツを通して地域の発展を

昨年も第59回宇品東地区町民大運動会が無事、開催されました。コロナ禍以前のように変わりなく生活できるようになった事で、地域住民の方たちが親睦と交流を深め一生懸命にスポーツをする姿や、子どもたちの笑い声が響くようこの運動会を通してより活気のある宇品東地区になったらと心から願います。そして地域の発展のため、スポーツを通して活動をしていきたいと思ひます。

(スポーツ推進委員 寺井 真由美)

宇品東

共に生き共に支えるまちづくり

ボランティアバンク部

ご一報ください

日頃から、地域活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。今年度は2回勉強会を開催しました。少しづつですが、草抜きやごみ出しなど12件の依頼がありました。日常生活の中でちょっとお手伝いが必要な方、ボランティアバンクのお手伝いをして頂ける方ご一報下さい。

いきいきサロンは地域内で7カ所開催しています。関心をお持ちの方、一度のぞいて見て下さい。神田南会館では、新年のお茶会を開きました。(福祉推進員 間弓 久美子)

ふれあいいきいきサロン宇品東 第1木曜日 10:30~12:00	いきいきサロン 11日、22日 10:00~12:00	いきいき水曜会 毎週水曜日 13:30~14:30
宇品東2丁目いきいきサロン 第3水曜日/毎週月・水・金 7:30~8:00/9:00~10:30		
神田1丁目 いきいきサロン 第4水曜日 10:00~	宇品東6南にここサロン 第1・3火曜日 10:00~12:00	元気クラブ 毎週火曜日 13:30~14:15

学校紹介

宇品東小学校

この冬 体力向上の取り組みを



この冬に小学校では、体力向上の取組を行っています。

1つ目が、「長縄大会」です。クラスごとに3分間で何回跳ぶことができるかに挑戦します。跳び方は、一人ずつ順番に跳ぶ8の字跳びです。本番に向けて、体育の授業や休憩時間に練習をします。練習した時に出た最高記録を記入するミニ黒板で、他の学級が何回跳んだのかを見ることができます。「やったあ、一位だ」「〇組にまだ負けてる」などの声が聞かれます。本番は、学級のみみんなで息を合わせて、最高記録が出るように挑戦していました。

2つ目は、「持久走チャレンジ」です。今年度から久しぶりに復活しました。大休憩に5分完走を行います。走った周回に応じて、マスを色で塗る「日本一周 持久走チャレンジカード」に挑戦です。何人の完走者が出るのか楽しみです。

寒い冬こそ、外で元気に体を動かす機会を設けて、楽しく意欲的に体力作りに取り組めるようにしています。

学校紹介

宇品中学校

良き伝統は継承される



旧生徒会執行部

新生徒会執行部

宇品中学校の強味は、学校の教育活動と生徒会執行部を中心とした生徒会活動が、常に連動して繋がっていることです。

昨年末、生徒会トレセンがあり、新旧生徒会執行部生徒による任務引継が行われました。その中で旧執行部の生徒たちは「学校づくり」に寄せる想いを熱く語ってくれました。先輩方の熱い想いを、新執行部の生徒たちが新たな挑戦によって継承してくれることを大いに期待しています。

2月、新執行部が中心となって「よりよい授業にしようキャンペーン」が始まります。これは、生徒一人一人の意見が尊重され、誰もが安心して学べる学級づくりのために、各学級の代議員がリーダーとなり、生徒主体で生徒が互いに高め合う「よりよい授業」づくりを創造していく取組です。

各学級における目標達成へ向けた取組が、学校全体の「よりよい授業」の創造に繋がっていくことを目指しており、この取組が、今後の「生徒主体の学校づくりの出発点」となることを強く願っています。

良き伝統は継承され、良き伝統は新たな挑戦により進化していく。そう確信しています。

防災セミナーを開く



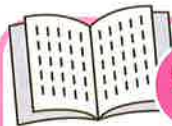
1月25日に宇品東3、4丁目町内会主催で防災セミナーを広島和光園にて開催し、南区役所地域おこし推進課の方より地震災害について学びました。宇品東において想定される地震の大きさが、南海トラフ巨大地震

以外にも最大震度5強~6弱の地震が5つも想定されていることに驚きました。

津波ハザードマップを見ながら、宇品東学区の危険箇所、避難場所の種類と場所、避難所にある物品などを確認しました。また非常持ち出し品を実際に見ながら、各家庭の状況や季節で必要物品が異なることが理解でき、何をどれくらい準備しておけばよいか具体的にイメージすることができました。本日の講義は非常時の一般的な指標なので、実際災害が起こった時にはその時の状況で臨機応変に対応すること。臨機応変に対応するためには心構えをしておくこと、備えられるものは準備しておくことが大切だということを痛感しました。(竹内 由紀絵)

和光園





宇品東児童館

児童館で卓球ができることも ご存知ですか？

宇品東地区の皆様には、日頃より児童の健全育成にご協力いただき深く感謝申し上げます。

児童館は、昭和44年に開館され宇品東小学校校庭内にあり平屋建ての遊戯室で、狭いところですがいつでも卓球が自由にできます。

コロナ感染症が5類に移行した後、子ども達が制限なしで遊ぶことができるようになりました。

当初は、初めて卓球のラケットにふれる子ども達も多く、どうやって持ったらいいの？ どこに打ったらいいの？ ととまどう様子もみられました。短時間ですが順番を決め週に1回くらいの卓球遊びを継続して行っています。

次第に、子ども対大人でラリーができ、友達同士でもラリーができるようになりました。ボランティアで講師の先生にもサーブのやり方ルールなどのご指導をお願いしました。みるみるうちに子ども達が上達し子ども達同士で長時間ラリーを楽しむことができるようになりました。

昨年12月には、ルールを学び、簡単な卓球大会で盛り上がり、うれしい顔悔しい顔の表情で子ども達の成長を感じることができました。

卓球をしたい人、児童館に是非遊びにいらしてくださいね。
(館長 岡本 富美)

宇品・似島 地域包括 支援センター

専門職・地域の人が避難行動訓練



能登半島地震から1年が経ち、年末年始には現在の能登の様子を報道するテレビ番組も多く見受けられました。

地震や豪雨災害は誰の身にも起こりうる「我がごと」として注目を集めるようになってきたと感じます。広島市内でも大型スーパーのイベントや各地域で行われる防災フェスタなど多くの啓発活動が行われています。



当センターでもケアマネジャーや介護サービス事業所と防災に対する意識啓発や避難訓練を行っています。R6年10月には宇品東地区民生委員の方々にもご参加いただき、災害弱者となりやすい要介護高齢者の避難行動訓練を行いました。訓練中には専門職も地域住民もお互いの意見を話し合いながらそれぞれの立場を超えて、安全に避難できるよう熱心に取り組みしていました。

災害発生時、一人の力で出来ることは限られています。専門職と地域の皆さんが共に支え合える地域づくりを目指し、今後とも取り組んでいきたいと思えます。
(石川)

宇品公民館 発

ここは私の 居場所です

「年齢を重ね、ひとりで暮らすようになった今も、公民館の学習グループの活動に参加しています。自宅から歩いて公民館まで来ます。天候によって大変なこともあります、苦勞ではありません。長く続けてきた活動です。ここが私の居場所です。楽しみなのです。」

利用の方から聞かせていただきました。居場所があるということはうれしいことです。学習の内容に楽しさがあることはもちろんでしょう。学習の中で新しい発見があることが喜びであるのももちろんです。それ以上に、そこに集う人と人のかかわりの中に、身の置き場があるということが、自分がここにいるという喜びなのでしょう。自分が認められる喜びです。これは公民館の大きな役割です。「それでは皆さん次回また会いましょう」は、どのグループでも活動の終わりにかわされるあいさつです。ずっと「居場所があるよ」を約束する言葉です。ずっと皆さんの居場所である公民館になれるよう努めます。
(下原 正樹)

町内 連合 会

強力な ハンドメガホンを配備



先日、新聞朝刊へ「広島県みんなで減災推進課からのお願い」という減災啓蒙チラシが入っていました。

能登半島地震から1年。地震はいつどこで起きるか分かりません。南海トラフ巨大地震が発生すると県内で最大震度6強の揺れや、最大2m近くの津波が想定されます。食料などの入手が困難になる、家具類が倒れ、ケガをしたり下敷きになるおそれがあります。非常持ち出し品・備蓄品の用意や家具類の転倒防止などいつ起きるか分からない地震に備えましょう。という内容でした。連合町内会では、既に防災関連機器を購入配備しております。主なものはリヤカー・ヘルメット・防災ジャケットなどです。この度、指定避難所（4か所）へ強力なハンドメガホンを購入配備しました。

来年度は、非常持ち出し品・備蓄品も検討しています。(佐藤)

宇品東社会福祉協議会

会長	長瀬 充良
副会長	日浦 章裕
	沖本 孝信
	宇都宮 秀規
監事	東 訓史
	吉岡 隆雄

宇品東連合町内会

会長	佐藤 勝美
副会長	祝 章則
部長	古知屋 晃
	柳田 利之
部長	清下 武士
監事	渡 浩司
	佐藤 温彦

編集後記

昭和100年。もうそんなに年を取ったのかと生まれた年を引算して思う。町民運動会も第60回、盆踊り大会も37回を迎えます。学区の皆様にご支援頂きながらより良い行事の運営はもちろん、次に繋がる社協の活動になる様に努めて「生」きたいと思えます。ご協力の程宜しくお願い致します。
(沖本)